

平成 23 年度決算の 連結財務諸表を公表します

平成 18 年 6 月に成立した「行政改革推進法」を契機に、地方の資産・債務改革の一環として「新地方公会計制度の整備」が位置付けられました。

地方公共団体は、総務省の「新地方公会計制度研究会」で示された「基準モデル」または「総務省方式改定モデル」を活用し、発生主義・複式簿記の考えかたに基づき、地方公共団体単体および関連団体の連結ベースでの財務諸表 4 表（貸借対照表・資金収支計算書・行政コスト計算書・純資産変動計算書）を作成することになりました。

本町では「総務省方式改定モデル」を活用して、平成 23 年度決算の連結財務諸表を作成しています。（P6~9）

連結財務諸表とは？

長島町は、普通会計で実施している事業のほかにも、公営事業会計などの特別会計を設けて行政サービスを行っています。

また、ほかの地方公共団体と一部事務組合を設置して特定の事業を行ったり、町が自ら出資した団体と連携して行政サービスを行うこともあります。そのため、普通会計の財務諸表を作成するだけでは、町の財務状況の全体を把握することはできません。

そこで、長島町の普通会計、公営事業会計と併せて関係団体なども連結した財務諸表を作成することで、町財政の全体の姿が見えてきます。

